

3 タイムライン詳細版（参考例） ～風水害時の大規模断水への対応

【想定】

- 大型で猛烈な台風が関東を直撃し、荒川左岸で決壊が発生する。
- 河川の決壊が発生する「8月31日15時」を基準として、前後約72時間（3日間）の行動を想定

※本資料はイメージとして一部抜粋し、提示するものであること。
必要に応じてここに記載のない機関を加えて作成するものであること。

【フェーズ1 警戒開始・情報収集】

日時	気象情報	関係機関	行動	注
8/27 15時 (-96h)	【気象情報】 ○ 以下の気象報道有。 ・ 超大型台風が接近。 ・ 8月31日（月）未明に埼玉県に最接近見込み ・ 大規模の降水量、河川流量が予測 ・ 河川の洪水、氾濫に注意			
8/28 15時 (-72h)	注意報：大雨	県 市町村	○ 情報連絡室設置 ・ 台風対応に係る関係各課の体制確認 ○ 災害警戒本部を設置。	
	【気象情報】 ○ 降雨量は以下の通り。 （A市内）8月29日 200mm 30日 300mm 31日 250mm （山間部）8月29日～31日で550mm～600mm ○ 山間部の降雨により、荒川、入間川流域の水位上昇も発生。 ○ 風も強まる。			

[illegible]

※以下、省略（１シナリオ２０～３０ページ程度が目安）

(注1) 大雨特別警報発令により

(注2) 甚大な被害予想が無い場合も、市からの要請があればリエゾンを派遣する。